

祝



辻直美

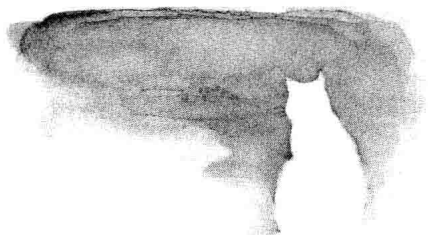
遺句集・評論・エッセイ集

祭

祝

辻直美
遺句集・評論・エッセイ集

祭



辻 直美（つじ なおみ） 略歴

昭和 11 年 4 月 東京都墨田区に生れる

昭和 57 年 2 月 「沖」投句

昭和 61 年 1 月 「沖」新人賞受賞・同人

平成 10 年 4 月 句集『春の構図』（ふらんす堂刊）

平成 17 年 7 月 句集『小鳥来てをり』（美研インターナショナル刊）

平成 19 年 1 月 「沖」沖賞受賞

4 月 10 年をかけ放送大学 卒業

6 月 夫・源三に膵臓癌の診断

平成 20 年 5 月 16 日 源三 逝去

平成 24 年 8 月 26 日 永眠

平成 26 年 12 月 遺句集・評論・エッセイ集『祝祭』

俳人協会会員



石炭袋

辻直美 遺句集・評論・エッセイ集『祝祭』

2014 年 12 月 28 日初版発行

著 者 辻直美

編 集 辻美奈子・鈴木比佐雄

発行者 鈴木比佐雄

発行所 株式会社 コールサック社

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-63-4-209

電話 03-5944-3258 FAX 03-5944-3238

suzuki@coal-sack.com <http://www.coal-sack.com>

郵便振替 00180-4-741802

印刷管理 (株)コールサック社 製作部

*装幀 奥川はるみ 装画 辻望里 写真 辻盛杜

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

ISBN978-4-86435-183-6 C1092 ￥2000E

辻直美
遺句集・
評論・
エッセイ集

祝祭

目次

辻直美 遺句集・評論・エッセイ集 祝祭 目次

I 遺句集『祝祭』

あかるくて 平成十七年～十八年 7

リア王 平成十九年～二十年 23

おしくらまんぢゅう 平成二十一年～二十二年 41

祝祭 平成二十三年～二十四年八月 55

II 俳論集

俳論集① 俳句評

能村登四郎の俳句鑑賞―俳人協会脚註名句シリーズより 72

林翔句集『あるがまま』一句鑑賞 74

林翔先生と私 思い出の一句 75

能村研三句集『滑翔』一句鑑賞 76

永田耕衣―「沖」連載へわが私淑の俳人より 77

椎名彰句集『風の葦』 80

川村杏平句集『羽音』 81

長谷川鉄夫句集『青墨』 82

藤村真理句集『からり』 85
秋葉雅治句集『翠巒』 88

俳論集② 「沖」連載〈鳩の軌跡〉より

福山広秋第一句集『武者風』 92

林菊枝第一句集『遠い町』 94

及川茂登子第一句集『花いちもんめ』 96

佐藤昌子第一句集『菊車』 98

荒井千佐代第一句集『跳ね橋』 100

横山淑子第一句集『さくら櫓』 102

秋葉雅治第一句集『北回歸線』 104

細谷友汀第一句集『風垣』 106

樋口英子第一句集『朝桜』 108

小林久雄第一句集『樹胎仏』 110

小泉旅風第一句集『旅装』 112

菅谷たけし第一句集『離陸』 114

谷口自然第一句集『魚島』 116

島田妙子第一句集『白夜』 118

広渡敬雄第一句集『遠賀川』
千田百里第一句集『巴里発』

俳論集③ 「沖」連載〈支部句会通信〉より

平成二十三年一月号	126
平成二十三年二月号	128
平成二十三年三月号	130
平成二十三年四月号	132
平成二十三年五月号	134
平成二十三年六月号	136
平成二十三年七月号	138
平成二十三年八月号	140
平成二十三年九月号	142
平成二十三年十月号	144
平成二十三年十一月号	146
平成二十三年十二月号	148
平成二十四年一月号	150
平成二十四年二月号	152

122 120

平成二十四年三月号	154
平成二十四年四月号	156
平成二十四年五月号	158
平成二十四年六月号	160
平成二十四年七月号	162
平成二十四年八月号	164

Ⅲ エッセイ・論文集

詩の記憶―わたしの近代詩史―	167
わたしの伊勢ものがたり	265
わたしの源氏物語	295
絵本からの贈りもの	337

Ⅳ むぎわらぼうし 米谷咲・真歩

あとがきにかえて 辻美奈子	348
略歴	352

辻直美 遺句集・評論・エッセイ集

祝祭

目次

辻直美 遺句集・評論・エッセイ集 祝祭 目次

I 遺句集『祝祭』

あかるくて 平成十七年～十八年 7

リア王 平成十九年～二十年 23

おしくらまんぢゅう 平成二十一年～二十二年 41

祝祭 平成二十三年～二十四年八月 55

II 俳論集

俳論集① 俳句評

能村登四郎の俳句鑑賞―俳人協会脚註名句シリーズより 72

林翔句集『あるがまま』一句鑑賞 74

林翔先生と私 思い出の一句 75

能村研三句集『滑翔』一句鑑賞 76

永田耕衣―「沖」連載へわが私淑の俳人◇より 77

椎名彰句集『風の葦』 80

川村杏平句集『羽音』 81

長谷川鉄夫句集『青墨』 82

藤村真理句集『からり』 85

秋葉雅治句集『翠巒』 88

俳論集② 「沖」連載〈鳩の軌跡〉より

福山広秋第一句集『武者風』 92

林菊枝第一句集『遠い町』 94

及川茂登子第一句集『花いちもんめ』 96

佐藤昌子第一句集『菊車』 98

荒井千佐代第一句集『跳ね橋』 100

横山淑子第一句集『さくら櫓』 102

秋葉雅治第一句集『北回歸線』 104

細谷友汀第一句集『風垣』 106

樋口英子第一句集『朝桜』 108

小林久雄第一句集『樹胎仏』 110

小泉旅風第一句集『旅装』 112

菅谷たけし第一句集『離陸』 114

谷口自然第一句集『魚島』 116

島田妙子第一句集『白夜』 118

広渡敬雄第一句集『遠賀川』
千田百里第一句集『巴里発』

俳論集③ 「沖」連載〈支部句会通信〉より

平成二十三年一月号	126
平成二十三年二月号	128
平成二十三年三月号	130
平成二十三年四月号	132
平成二十三年五月号	134
平成二十三年六月号	136
平成二十三年七月号	138
平成二十三年八月号	140
平成二十三年九月号	142
平成二十三年十月号	144
平成二十三年十一月号	146
平成二十三年十二月号	148
平成二十四年一月号	150
平成二十四年二月号	152

120 122

平成二十四年三月号	154
平成二十四年四月号	156
平成二十四年五月号	158
平成二十四年六月号	160
平成二十四年七月号	162
平成二十四年八月号	164

Ⅲ エッセイ・論文集

詩の記憶―わたしの近代詩史―	167
わたしの伊勢ものがたり	265
わたしの源氏物語	295
絵本からの贈りもの	337

Ⅳ むぎわらぼうし 米谷咲・真歩

あとがきにかえて 辻美奈子 略歴	348
	352

I
遺句集

祝祭

辻直美

あ
か
る
く
て

平
成
十
七
年
〜
十
八
年



木と石の土留を組みし紅葉山
秋燕ひとのかれに飛翔あり
新酒酌む舅といふは酔ひ易く
老優の達者見にゆく十二月
海豚飛ぶ輪や冠雪の富士のあり

心棒の真直ぐな独楽よ狂へば舞ふ

総理よりいつつ年上女正月

幼な子のなんと目敏き柳の芽

冬帽子ちひさな顎を結びけり

会釈して塩梅てふ語あたたかし

朧夜のけむりDNAの形して
追難会や持つて生まれし鼻柱
抽斗を抜いて持ち出す春の山
二十四の一重瞼のひひなかな
人は日はいつも鮮し初桜